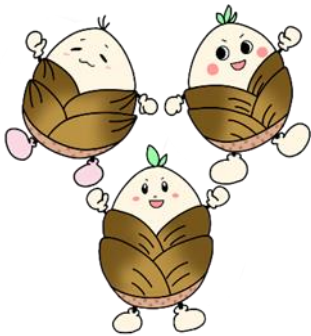




向日市備蓄計画

令和5年度版



向日市環境産業部防災安全課

災害救助用食糧に係る備蓄計画

項 目	内 容
1 想定	平成29年度に京都府が作成した「京都府地震被害想定調査」に基づき、有馬一高槻断層帯を震源地とする地震（向日市において被害が最大となる想定がされている。向日市震度＝6強）が起きた場合を想定する。
2 人口推計	令和7年における将来人口は、人口ビジョンから53,834人である。 （内訳） 0～4歳 2,406人（4.47%） 5～69歳 43,784人（81.33%） 70歳以上 7,644人（14.2%）
3 避難者数の想定	<u>8,828人</u> （内訳） 0～4歳 394人（8,828人×4.47%） 5～69歳 7,180人（8,828人×81.33%） 70歳以上 1,254人（8,828人×14.2%） 「京都府地震被害想定調査」によると下記のとおり推計される。 ① 9,041人（人口55,031人で算出） ② 令和7年人口53,834人から換算すると、8,828人 （注）住家の損壊が著しくない場合で、ライフラインの停止や余震等による住家被害を避けるため、避難した人は含まない
4 備蓄数量推計のための条件	（1）避難所において避難生活をする者のみを対象とする ※ ライフライン等の寸断により、避難はしていないが食糧の配給を受けられる人は対象としない ※ 救助活動に従事する人の食糧は、対象としない （2）1日当たり1食分を準備する （3）発災後1日間分は、市、京都府、個人、流通・在庫備蓄等に対応し、2日目以降は流通備蓄対応、4日目以降は、救援物資（食糧）が届くものと仮定する。
5 目標値	<u>9,000食分</u> （内訳） ① 一般用 5～69歳を対象 7,300食分（81.33%） ② 災害弱者用 0～4歳＋70歳以上を対象 1,700食分（18.67%） （根拠） ① 避難者数8,828人×3食／日＝26,484食 ② 1食分については京都府備蓄物資 ③ 1食分については流通備蓄、市民持参等に対応すると想定し、26,484食－（8,828食＋8,828食）＝8,828食≒9,000食
6 現在の食糧備蓄状況	【参考】現在の備蓄状況（令和5年3月末現在）参照

7 現状の分析	<p>平成30年度に作成した備蓄方針の目標は、アルファ化米を除き達している。</p> <p>一般食については、アルファ化米の備蓄比率が多く配備されてきている。災害弱者用については、お粥やソフトパンの備蓄を中心に行っている。必要最小限の避難者（被災者）に配給する程度は必要と判断し、一定比率の備蓄を行っている。</p> <p>今後も、将来の高齢者の増加を考慮すると、さらに災害弱者用の食糧を増やす必要がある。</p> <p>しかしながら、賞味期限、使用期限により食品ロスが増えることも念頭に置き、備蓄数については継続して検討を行う。</p>																																			
8 今後の食糧備蓄の方針	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(現状)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目</th> <th style="text-align: center;">備蓄割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルファ化米(一般用)</td> <td style="text-align: right;">53.10%</td> </tr> <tr> <td>パン</td> <td style="text-align: right;">18.47%</td> </tr> <tr> <td>お粥(災害弱者用)</td> <td style="text-align: right;">8.60%</td> </tr> <tr> <td>クッキー・ビスケット</td> <td style="text-align: right;">19.13%</td> </tr> <tr> <td>その他食糧</td> <td style="text-align: right;">0.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※粉ミルク・液体ミルク除く</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(今後)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目</th> <th style="text-align: center;">備蓄割合</th> <th style="text-align: center;">全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルファ化米(一般・)</td> <td style="text-align: right;">56% (5,000食)</td> <td style="text-align: right;">38%</td> </tr> <tr> <td>パン(一般)</td> <td style="text-align: right;">25% (2,300食)</td> <td style="text-align: right;">17%</td> </tr> <tr> <td>お粥(災害弱者用)</td> <td style="text-align: right;">19% (1,700食)</td> <td style="text-align: right;">13%</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※補助食として4,500食</td> </tr> <tr> <td>クッキー・ビスケット</td> <td style="text-align: right;">50% (2,250食)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> <tr> <td>その他食糧</td> <td style="text-align: right;">50% (2,250食)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table> <p>上記の「現状の分析」を踏まえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保管期限の的確な運用 ② 備蓄食糧の多様化の検討 <p>水については、避難者×3リットルを備蓄する。</p> <p>また、備蓄食糧の多様化に対応できるような形で、ゼリー、カップ麺等の備蓄についても進めていく。</p> <p>粉ミルク・液体ミルクについては、消費期限が短いことから毎年度購入を行う。</p> <p>今までローリングストックの対象となっていなかった、紙おむつを始めとした日用品についても、メーカー推奨の5年から10年の範囲で更新を行っていく。</p>	<p>(現状)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目</th> <th style="text-align: center;">備蓄割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルファ化米(一般用)</td> <td style="text-align: right;">53.10%</td> </tr> <tr> <td>パン</td> <td style="text-align: right;">18.47%</td> </tr> <tr> <td>お粥(災害弱者用)</td> <td style="text-align: right;">8.60%</td> </tr> <tr> <td>クッキー・ビスケット</td> <td style="text-align: right;">19.13%</td> </tr> <tr> <td>その他食糧</td> <td style="text-align: right;">0.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※粉ミルク・液体ミルク除く</p>	品目	備蓄割合	アルファ化米(一般用)	53.10%	パン	18.47%	お粥(災害弱者用)	8.60%	クッキー・ビスケット	19.13%	その他食糧	0.7%	<p>(今後)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目</th> <th style="text-align: center;">備蓄割合</th> <th style="text-align: center;">全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルファ化米(一般・)</td> <td style="text-align: right;">56% (5,000食)</td> <td style="text-align: right;">38%</td> </tr> <tr> <td>パン(一般)</td> <td style="text-align: right;">25% (2,300食)</td> <td style="text-align: right;">17%</td> </tr> <tr> <td>お粥(災害弱者用)</td> <td style="text-align: right;">19% (1,700食)</td> <td style="text-align: right;">13%</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※補助食として4,500食</td> </tr> <tr> <td>クッキー・ビスケット</td> <td style="text-align: right;">50% (2,250食)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> <tr> <td>その他食糧</td> <td style="text-align: right;">50% (2,250食)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> </tbody> </table>	品目	備蓄割合	全体	アルファ化米(一般・)	56% (5,000食)	38%	パン(一般)	25% (2,300食)	17%	お粥(災害弱者用)	19% (1,700食)	13%	※補助食として4,500食			クッキー・ビスケット	50% (2,250食)	16%	その他食糧	50% (2,250食)	16%
<p>(現状)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目</th> <th style="text-align: center;">備蓄割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルファ化米(一般用)</td> <td style="text-align: right;">53.10%</td> </tr> <tr> <td>パン</td> <td style="text-align: right;">18.47%</td> </tr> <tr> <td>お粥(災害弱者用)</td> <td style="text-align: right;">8.60%</td> </tr> <tr> <td>クッキー・ビスケット</td> <td style="text-align: right;">19.13%</td> </tr> <tr> <td>その他食糧</td> <td style="text-align: right;">0.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※粉ミルク・液体ミルク除く</p>	品目	備蓄割合	アルファ化米(一般用)	53.10%	パン	18.47%	お粥(災害弱者用)	8.60%	クッキー・ビスケット	19.13%	その他食糧	0.7%	<p>(今後)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目</th> <th style="text-align: center;">備蓄割合</th> <th style="text-align: center;">全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルファ化米(一般・)</td> <td style="text-align: right;">56% (5,000食)</td> <td style="text-align: right;">38%</td> </tr> <tr> <td>パン(一般)</td> <td style="text-align: right;">25% (2,300食)</td> <td style="text-align: right;">17%</td> </tr> <tr> <td>お粥(災害弱者用)</td> <td style="text-align: right;">19% (1,700食)</td> <td style="text-align: right;">13%</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※補助食として4,500食</td> </tr> <tr> <td>クッキー・ビスケット</td> <td style="text-align: right;">50% (2,250食)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> <tr> <td>その他食糧</td> <td style="text-align: right;">50% (2,250食)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> </tbody> </table>	品目	備蓄割合	全体	アルファ化米(一般・)	56% (5,000食)	38%	パン(一般)	25% (2,300食)	17%	お粥(災害弱者用)	19% (1,700食)	13%	※補助食として4,500食			クッキー・ビスケット	50% (2,250食)	16%	その他食糧	50% (2,250食)	16%		
品目	備蓄割合																																			
アルファ化米(一般用)	53.10%																																			
パン	18.47%																																			
お粥(災害弱者用)	8.60%																																			
クッキー・ビスケット	19.13%																																			
その他食糧	0.7%																																			
品目	備蓄割合	全体																																		
アルファ化米(一般・)	56% (5,000食)	38%																																		
パン(一般)	25% (2,300食)	17%																																		
お粥(災害弱者用)	19% (1,700食)	13%																																		
※補助食として4,500食																																				
クッキー・ビスケット	50% (2,250食)	16%																																		
その他食糧	50% (2,250食)	16%																																		

※公的備蓄等の考え方（京都府備蓄基準）

- 食糧 一人当たり2食（アレルギー対応を考慮）
- 飲料水 一人当たり1リットル
- 毛布等防寒具 一人当たり1枚
- 簡易トイレ 100人あたり1基
- おむつ（大人用）75歳以上の10%について1人当たり8枚
- おむつ（子ども用）0～3歳児について1人当たり8枚
- 女性用衛生用品 13歳～50歳女性の25%について3枚

○備蓄物資整備計画

(1) 食料

品 目	数値根拠
アルファ化米	<p>【対象】 5歳から69歳まで 81.33%</p> <p>【基準】 保存パンと合わせて7,300食を整備 1人当たり1食分として整備し、注水後の仕上がり量は、1人1食あたり210g、360kcal程度を基準とする。</p> <p>【目標数量】 9,000人×81.33%×68%（アルファ化米とパンで概ね2：1）×1食≒ 約5,000食</p>
白粥 (アルファ化米)	<p>【対象】 0歳～4歳及び70歳以上 18.67%</p> <p>【基準】 1人当たり1食分として整備し、注水後の仕上がり量は、1人1食あたり210g、150kcal程度を基準とする。</p> <p>【目標数量】 9,000人×18.67%×1食=1,700食</p>
保存パン(個)	<p>【対象】 5歳から69歳まで 81.33%</p> <p>【基準】 アルファ化米と合わせて7,300食を整備 一人当たり1食分として整備し、注水後の仕上がり量は、1人1食あたり210g、370kcal程度を基準とする。</p> <p>【目標数量】 9,000人×81.33%×32%（アルファ化米とパンで概ね2：1）×1食分 = 約2,300食</p>
保存水(飲料)	<p>【対象】 全避難者9,000人</p> <p>【基準】 1人当たり1日分(3ℓ)を整備</p> <p>【目標数量】 9,000人×3リットル=27,000ℓ</p>
ビスケット、クラッカー(個)	<p>【対象】 全避難者の半数</p> <p>【基準】 間食分として整備(9,000人の半数分4,500食) ビスケット、クラッカーともに1人当たり1缶(1包装)を基準とする。</p> <p>【目標数量】 4,500食×50%×1食分 = 2,250食</p>
その他食糧	<p>【対象】 全避難者の半数</p> <p>【基準】 間食分として整備(9,000人の半数分4,500食)</p> <p>【目標数量】 4,500食×50% = 2,250食 ※災害弱者用として保存用ゼリーなど新たな品目を保存</p>
粉ミルク・液体ミルク	<p>【対象】 0歳 全体の0.9%</p> <p>【基準】 1人当たり5食を目安に整備</p> <p>【目標数量】 9,000人×0.9%×5食 = 400食</p>

※食糧備蓄数基準は9,000

(2) 生活必需品 (公定備蓄分) ※半数は京都府備蓄

品 目	数値根拠
毛 布	【対象】全避難者9,000人 (公定備蓄基準) 【基準】1人当たり1枚として整備 【目標数量】 想定避難者数×1枚×1/2 = <u>4,500枚</u>
簡易トイレ本体	【対象】全避難者9,000人 (公定備蓄基準) 【基準】避難者100人あたり1基 【目標数量】 想定避難者数÷100×1/2 = <u>45基</u>
紙おむつ	【対象】乳幼児用 (0歳から4歳) 全体の4.47% 400人 【基準】1人1日当たり8枚を整備 【目標数量】 400人×8枚/日×1/2 = <u>1,600枚</u>
	【対象】75歳以上の10% 140人 【基準】1人1日当たり6枚分整備 【目標数量】 140人×8枚/日×1/2 = <u>600枚</u>
衛生用品	【対象】10歳から55歳女性の25% 3,500人 【基準】対象人口3,500人について3枚 【目標数量】 3,500人×3枚/日×1/2 = <u>5,250枚</u>

(2) 生活必需品 (市単独分)

品 目	数値根拠
仮設トイレ (ドント・コイ) (スケットレ)	【対象】全避難者 【基準】避難所に整備 【目標数量】 収容避難所32箇所(市民体育館除く)×2台 = <u>64台</u>
マンホールトイレ	【対象】向日市民体育館、南部防災拠点、永守重信市民会館 【基準】施設に整備 【目標数量】 <u>市民体育館8台、南部防災拠点2台、永守重信市民会館4台</u>
オストメイト用トイレ	【対象】各小中学校 【基準】各小中学校に1台 【目標数量】 9箇所×1台 = <u>9台</u>
収集袋・凝固剤	【対象】全・半壊世帯 (トイレに支障のある在宅被災者) 【基準】防災倉庫8箇所および各小学校に800袋 【目標数量】 14箇所×800袋 = <u>11,200袋</u>
トイレットペーパー	【対象】全避難者9,000人 【基準】100人で1日8ロール分 (480m) 整備 1ロール60m (シングル) 一人当たり1日5m使用 うち流通備蓄により半数補充 【目標数量】 9,000人÷100人×8ロール×1/2 = <u>3,600ロール</u>

トイレ用プライベートハウス	上記簡易トイレ本体と同数 = <u>90張</u>
哺乳瓶 (使い捨て)	【対象】 0歳 全体の0.9% 80人 【基準】 1人当たり5個を目安に整備 【目標数量】 80人×5個 = <u>400本</u>
パーティション(避難所間仕切)	【対象】 避難所 (小・中学校体育館、永守重信市民会館等) 【基準】 避難所有効床面積 【目標数量】 小・中学校体育館、永守重信市民会館等パーティション設置可能施設床面積合計÷12,000m ² パーティション床面積 : 2.1m×2.1m ÷4.4m ² 避難所床面積合計×40%÷パーティション床面積 = <u>約1,000枚</u> ※40%については、通路等確保した上でのパーティション設置可能面積割合です。
簡易テント	【対象】 避難所 【基準】 避難所に各3個整備 【目標数量】 32箇所×3個 = <u>96個</u>
懐中電灯	【対象】 避難所 【基準】 避難所に各2個整備 【目標数量】 32箇所×2個 = <u>64個</u>
簡易ベット	【対象】 避難所 【基準】 避難所に各3個整備 【目標数量】 32箇所×3個 = <u>96個</u>
炊事器具セット	【対象】 主要避難所11箇所 【基準】 各1台 【目標数量】 <u>11セット</u>
食器セット	【対象】 指定避難所 【基準】 各避難所に2セット 【目標数量】 避難所32箇所×2セット = <u>64セット</u>
卓上コンロ	【対象】 主要避難所11箇所 【基準】 各1台 【目標数量】 <u>11セット</u>
カセットボンベ	【対象】 北部防災拠点及び南部防災拠点 【基準】 卓上コンロ×7回分 【目標数量】 10台×7本 = <u>700本</u>
携帯ラジオ	【対象】 指定避難所 【基準】 避難所32箇所に整備 【目標数量】 32箇所×1台 = <u>32台</u>
赤外線ヒーター	【対象】 各小中学校 【基準】 各小中学校3台 【目標数量】 9箇所×3台 = <u>27台</u>

扇風機	【対象】各小中学校 【基準】各小中学校4台 【目標数量】9箇所×4台＝ 36台
スポットクーラー	【対象】各小中学校 【基準】各小中学校6台 【目標数量】9箇所×6台＝ 54台
避難所マット	【対象】避難者 9,000人 【基準】1世帯（4名想定）に1枚 【目標数量】9,000人÷4＝ 2,250枚
マスク	【対象】全人口 【基準】市民一人あたり1.8枚 【目標数量】53,834人×1.8枚＝ 約97,000枚

(3) 資機材

品目	数値根拠
発電機	避難所：1台(2200W)×32箇所＝32台 北部南部防災拠点：1台(2200W)×2箇所＝2台 永守重信市民会館：2台(2200W) 計36台
ガソリン	1日間（1日8時間稼働）の避難生活に必要な量を備蓄 発電機燃料タンク：130、連続運転可能時間8時間 130×36台×＝ 4680 ただし、最大1施設400未満の備蓄とする（消防法）ため
ガソリン携行缶 (消防法適合品)	避難所32箇所+防災拠点3箇所×1個＝ 35個
投光機 投光機用支柱	災害対策本部1箇所×2台＝2台 避難所及び防災拠点 35箇所×2台＝70台 計72台
救助工具セット	避難所及び防災拠点 35箇所×1台＝ 35台 ※両口ハンマー、バラシバル、ツルハシ、アルミボルト、クリッパー、ケンスコ、レスキューアックス、テコバル、掛矢、ジャッキ、かませ木
脚立	32箇所×1台＝ 32台
トランジスタメガホン	32箇所×1台＝ 32台
折畳式リヤカー	32箇所×1台＝ 32台
コードリール	32箇所×2台＝ 64台
簡易担架	(小・中学校9箇所+防災倉庫2箇所)×2台＝ 22台

※資機材については、分散配置が難しいものについて防災拠点に集約備蓄

○流通備蓄について

本市では、企業等とあらかじめ協定を締結し、災害発生時に必要な物資を調達する体制を構築し、実効性のある流通備蓄の供給体制の確保に努めます。

協定件名	協定内容	協定先
災害時における物資の供給協力に関する協定書	応急対策物資の優先供給及び運搬	向日市商工会
災害時における仮設トイレの設置協力に関する協定	仮設トイレの設置協力	株式会社京都衛生開発公社
災害時におけるエルピーガス等の供給に関する協定	L P ガス等の供給の協力	一般社団法人京都府エルピーガス協会
災害発生時における物資の供給に関する協定書	食糧等、衛生用品、薬、その他生活用品及びその他日用品の供給	株式会社平和堂
災害発生時における物資の供給に関する協定書	生活消耗品、育児用品、医薬品、食糧品及びその他生活救援に必要な物資の供給	株式会社ユタカファーマシー
災害時における支援協力に関する協定書	食糧品、衣類、寝具類、生活用消耗品、育児用品、医薬品、食器類及びその他生活救援に必要な物資の供給	イオンリテール株式会社
災害時における飲料の供給等協力に関する協定書	飲料の供給	コカ・コーラウエスト株式会社
災害時における飲料の供給等協力に関する協定書	飲料の供給	樋口鉱泉株式会社

○救援物資について

本市では、大規模災害に備え府外を含む広域の市町村と相互に備蓄若しくは物資供給を行うための相互応援協定を締結し、被害状況に応じた救援物資受入れ及び物資の円滑な供給に努めます。

協定件名	協定締結日	協定先
災害時における相互応援協定	平成7年8月1日	大阪府摂津市
災害時における相互応援協定	平成7年8月1日	兵庫県豊岡市
災害時における相互応援協定	平成7年9月13日	奈良県桜井市
災害時における相互応援協定	平成7年9月18日	滋賀県近江八幡市
災害時における相互応援協定	平成7年9月20日	和歌山県有田市
災害時における相互応援協定	平成7年10月23日	福井県敦賀市
災害時における相互応援協定	平成8年1月10日	岐阜県羽島市

○購入計画

備蓄物資については、保存期限切れによる大量廃棄を避けるため、保存期限の近いものは防災訓練による活用、公共施設やフードバンクへの提供など有効活用を行いながら、購入計画に基づき計画的に購入を行います。

品目	保存期限	購入計画
アルファ化米（白米）	5年	全量（5,000食）の1／5を毎年度購入
アルファ化米（お粥）	5年	全量（1,700食）の1／5を毎年度購入
クラッカー	5年	全量（1,400食）の1／5を毎年度購入
ビスケット	5年	全量（900食）の1／5を毎年度購入
保存パン	7年	全量（2,300食）の1／7を毎年度購入
保存水	10年	全量（27,000リットル）の1／10を毎年度購入
その他	10年	全量（2,200食）の1／10を毎年度購入
粉ミルク・液体ミルク	1年	全量（400食）を毎年度購入

その他備蓄物資については、使用期限がないものについては、早急に計画数を達成し、使用期限のあるものについては、計画的に購入を行っていきます。

○家庭内備蓄の推進

本市では、自助の観点から3日分を目安に家庭内備蓄の促進を図るため、向日市防災訓練、自主防災組織の訓練、防災マップ、市の広報誌等を通じて、継続的に家庭内備蓄の啓発に努めます。

家庭内備蓄は、食糧や飲料水を備蓄用として特別に購入することなく、普段から使用している飲料やレトルト食品などを定期的に変更し、補充するローリングストック法の啓発に努めます。

食糧	○飲料水（1日3ℓ/人を目安に） ○缶詰 ○乾パン ○レトルト食品など
救急・安全対策用品	○常備薬 ○包帯、ガーゼ、絆創膏 ○傷薬、消毒薬 ○持病のある方の薬 ○ヘルメット、防災ずきん ○ホイッスル ○地図（防災マップ）
貴重品	○現金（小銭） ○預貯金通帳、印鑑 ○クレジットカード類 ○健康保険証 ○免許証など
衣類など	○衣類（厚い物と薄い物） ○下着類 ○タオル、毛布 ○手袋、軍手 ○寝袋 ○雨具
日用品など	○ポリ袋（ビニール袋） ○新聞紙 ○携帯電話（充電器、バッテリー） ○筆記用具（油性マジック） ○ろうそく、ライター ○洗面用具 ○ナイフ、缶切り ○メガネ ○ティッシュペーパー ○マスク ○ウェットティッシュ ○使い捨てカイロ ○懐中電灯 ○紙おむつ ○携帯ラジオ ○衛生用品

備蓄目標数

内容	品名	単位	目標数値	
食料品	アルファ化米	食	6,700	
	保存パン		2,300	
	クラッカー、ビスケット		2,300	
	補助食品		2,300	
	保存水	リットル	27,000	
	粉ミルク、液体ミルク	食	400	
生活用品	炊事・給水	炊事器具セット	セット	11
		卓上コンロ	台	11
		カセットボンベ	本	700
		食器セット	セット	64
		哺乳瓶	個	400
	トイレ	仮設トイレ	台	64
		簡易トイレ	個	45
		マンホールトイレ用便座	台	14
		マンホールトイレ用テント	張	14
		オストメイト用トイレ	台	9
		収集袋・凝固剤	袋	11,200
		トイレットペーパー	ロール	3,600
		トイレ用プライベートハウス	張	90
	パーティション	パーティション	張	1,000
		簡易テント	張	96
	その他	紙おむつ(子ども用)	枚	1,600
		紙おむつ(大人用)	枚	600
		生理用品	個	5,250
		毛布	枚	4,500
		懐中電灯	個	64
		簡易ベッド	台	96
		ラジオ	個	32
		赤外線ヒーター	台	27
扇風機		台	36	
スポットクーラー		台	54	
避難所マット		枚	2,250	

		マスク	枚	97,000
資 機 材		発電機	台	36
		投光機	台	72
		投光機用スタンド	台	72
		救助工具セット	セット	35
		脚立	台	32
		トランジスタメガホン	台	32
		折畳式リアカー	台	32
		コードリール	台	64
		簡易担架	台	22
		ガソリン携行缶	缶	35